

# 審判上の注意

1. 監督・コーチ・マネージャーは所定の記章を見えやすい位置に付け、チームスタッフの服装は統一すること。チームは監督が署名したラインアップシートの提出すること。
2. プロトコール前に監督は公式記録用紙に署名し、引き続きチームキャプテンが公式記録用紙に署名する。両チーム署名後にコイントスをし、公式練習に入る。公式練習中に副審は記録員と協力し、エントリー選手の背番号を確認する。間違いがあった場合には競技役員に報告・確認し適切な措置をとる。試合終了後チームキャプテンは記録用紙に署名すること。
4. ゲーム中のワイピングは、コート内の選手が身につけたタオルで行うこと。チームは、十分な枚数のワイピング用タオルを準備すること。濡れがひどい場合は主審または、副審の指示で柄付きモップを導入する。
5. ラリー終了後、監督のみが自チームベンチ前のフリーゾーン内で、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。サービス許可の吹笛後は速やかにベンチに着席すること。
6. 交代選手はラリー中、ベンチに着席しているか、ウォームアップエリア内に、位置していること。競技者交代は選手が競技者交代ゾーンに入った時点で、副審が吹笛後、記録員と確認し交代させる。交代選手が準備できていない時や、不当な要求であればその要求は拒否される。
7. セット間、タイムアウト時のベンチでの水分補給についてはベンチ付近で行い、水滴等をコート上に落とさないこと。チームの荷物は椅子の下、又はベンチ後方にて整理する。  
※テクニカルタイムアウト（給水タイム）時はベンチ付近で給水させる。この時、給水している選手に近づいての指示は認められる。（あくまでも給水が最優先となる。）
8. 競技参加者・チームスタッフまたは応援団による、審判団（主・副審、ラインジャッジ）に対する抗議については、主審・副審の判断により警告が与えられる。繰り返した場合は、反則が与えられる。特にチームスタッフによる選手への暴力・暴言については厳しい措置（失格・退場）を適用する。
9. 試合終了後は速やかにベンチを空けること。
10. タイムアウト要求は公式ハンドシグナルを用いること。
11. 審判員はチーム随行審判員とし、公益財団法人日本バレーボール協会公認審判資格者、および宮崎県バレーボール協会公認審判資格者で行う。主審、副審は審判服を上下着用し、必ずワッペンを胸中央に付ける。記録員、点示員、線審は全試合、割り当てチーム補助員（選手）が担当する。